

「解答例」

<p>選抜区分</p>	<p>2023（令和5）年度（選抜区分：後期日程） 外国語学部 中国学科（科目名：小論文）</p>
<p>問二（出題の意図）別紙</p>	<p>問一 本文は欧米での漢字使用の流行から、東アジア国際文字としての漢字の意味を論じる。中国を起源とする漢字は、西欧と接触するまで東アジアにおける唯一の国際文字であった。日本は漢字に早くより触れ、日本と朝鮮半島との交流では漢文が国際語となり、日米和親条約でも漢文が公式に用いられた。漢字を用いた地域間交流は東アジア共通の文化圏を形成し、古来より現在まで継続している。明治以降の日本では、西洋文献の翻訳をするために和製漢語が作られたが、それは日本における西洋文化受容の成果であった。和製漢語は共通の文化圏に属していた中国と朝鮮でも受容され、近代東アジアの西洋文化受容に重要な役割を果たした。東アジアの文化的共通性を「漢字文化圏」と称するならば、東アジア地域間の相互影響の歴史も含まれ、文化の遺伝的共通性を認識し、互恵関係を浮かび上がらせ、まとまりを回復する契機ともなる。よって漢字文化圏の再認識を提唱したい。（398字）</p>